

パラスポーツ先端研究教育連携プロジェクト オンライン連続セミナー

「パラスポーツの可能性を探る」

第3回テーマ「パラスポーツと自己への気づき」

私たちは、皆、異なる身体を持っています。しかし、建物や設備、価値観やルールといった社会環境は、多数派の身体に合わせてデザインされています。そのために、少数派の身体をもつ障害のある人々は、様々な障壁に直面することになります。インクルーシブ社会、共生社会の理念を実現するには、障害のある人が暮らしやすいものへと社会環境をデザインしなおす必要がありますが、その際に羅針盤となるのは、障害のある人自身をもつ、自分の身体についての知識です。自己を知る方法としてのパラスポーツの意義について、アスリートの方々との共同研究を通じて見えてきたことをご紹介します。

- 形式**：オンライン（Zoom）での開催
- 時間**：10月12日（火）19:00～20:15（質疑応答含む）
- 主催**：東京大学スポーツ先端科学連携研究機構
- 協力**：日本パラスポーツ協会、日本スポーツ振興センター
- 参加申込**：下記のリンクのフォームよりお申し込みください。（参加費無料）
<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/meeting/register/tZAuduqoqzgsGdfM4D2dQI2GY189q8JUY2gF>
- 情報保障**：情報保障として文字通訳を行います。詳細は後日ご案内します。
- 連絡先**：UTSSI パラスポーツシンポジウム担当 utssi.parasports@gmail.com

●第3回講師紹介

○熊谷 晋一郎（東京大学先端科学技術研究センター 准教授）

東京大学先端科学技術研究センター准教授、小児科医。東京大学バリアフリー支援室長。新生児仮死の後遺症で、脳性マヒに。以後車いす生活となる。東京大学医学部医学科卒業後、千葉西病院小児科、埼玉医科大学小児心臓科での勤務、東京大学大学院医学系研究科博士課程での研究生生活を経て、現職。専門は小児科学、当事者研究。

※本セミナーは東日本旅客鉄道株式会社よりご支援をいただいております。